

土岐商だより



TOPIC

- 間に合う人材へ
- 全国選抜大会で上位入賞を目指す
- 教員生活を終えるにあたって
- 離任される先生方
- 4月の行事予定

間に合う人材へ

学校長 服部 哲明

一般にいう「間に合う」というと時間的にとか、用が足りるなどに使われるが、岐阜弁では、機転が利く、いわゆるかゆいところに手が届いたり、こうしてほしいと望むとそれに応えてくれる人材のことを「間に合う人」という。にもかかわらず、何か全面に出ることもなく謙虚で控えめというニュアンスがある響きを持つ。こんな人材になるにはどのような資質を備えるべきであろうか。私の尊敬する松下幸之助氏(現パナソニックの創設者)は、次のように述べている。[「人多くして人なし」という言葉を、昔ある先輩から聞いたことがある。考えてみると、会社経営においても普通の状態では、間に合う人は大勢いる。ところがさて、大事に臨んで間に合う人はというと、きわめて少ないものである。

では、どういう人が大事のとき役に立つか。その道の知識とか経験が大きな比重を持つことは当然だが、ただそれだけではダメのように思う。その上に何が必要かという、「生命を賭す」気構えである。と言っても今日ではほんとうに命を捨てるということはきわめて少ないが、いざというときには「命をかけて」という気構えを、いつの場合でも持っている人が、ほんとうに大事に役立つ人だと思うのである。]

かつて、バレー部にいたころマネジャーという役割を持った生徒がいた。そのチームは、全国大会に絶えず駒を進める強豪チームであったが、このマネジャーがチームの顔とよく監督に言われていた。チーム内では、生徒の中で絶対的な権限を持ち、監督、コーチ、マネジャー、キャプテンという各付けがあった。このマネジャーがいわゆる「間に合う生徒」であった。監督、コーチ、選手達が何を求めているか、何を悩んでいるか、チームがどういう状態なのかを絶えず考え行動できる生徒であった。時には、選手達にもいやなことを言わねばならないこともあったり、監督、コーチにチームを代表して叱られることもあった。このマネジャーはバレーボールというスポーツのみならず、人間的にも成長しないとチームをまとめ上げることができない立場の生徒であった。今土岐商業高校の部活動がさらに発展するには、各部ともこのマネジャーが「間に合う人材」に成長することが1つの条件となると私は見ている。マネジャーという経験は、企業人となってからも必ず役に立つ貴重な経験だと言っても過言ではありません。各顧問の先生からうちのマネジャーは「よく間に合う」という声が聞かれることを楽しみにしている。

全国選抜大会で上位入賞を目指す・・・ウエイトリフティング部 戸松 大君

平成22年3月25日(木)～28日(日)の期間で石川県金沢市総合体育館で開催される第25回全国高等学校ウエイトリフティング競技選抜大会に戸松大(2D:西陵中出身)が出場します。戸松君は1月に開催された東海選抜大会94kg級で優勝し、全国ランキング4位で選抜大会に選考されました。

目標は3位以内ですが、最低でも5位に入賞し全国高校総体(沖縄インターハイ)の出場者の枠を1つ増やしたいと抱負を語ってくれています。

1月の東海選抜大会の結果

85kg級の堀井勇也(2B:瑞浪中出身)、94kg級戸松大の2名が優勝、56kg級で嶺南佑二(2A:泉中出身)が2位入賞

女子の部(階級は省略します)

水野友希菜(1F:西陵中出身)、長江彩加(1D:西陵中出身)、伊藤里奈(1F:多治見中出身)の3名が優勝

石丸希望(1A:駄知中出身)が2位、福土芹華(1C:西陵中出身)、古田愛佳(1F:多治見中出身)の2名が3位に入賞しました。

その他の部活動の結果

バスケット部女子:県新人大会東濃地区予選優勝、バドミントン部男子:東濃地区学年別大会優勝

珠算部:県新人大会団体2等、個人2等(伊藤亮介 2D:駄知中出身)

ワープロ部:県新人大会団体3位、個人優勝(上森有桂 2E:陶中出身)1年生の部優勝(戸松麻衣 1F:駄知中出身)

自然科学部:第53回全国学芸化学コンクール自然科学部旺文社赤尾好夫記念賞銅賞



教員生活を終えるにあたって

教 頭 服 部 博

この春も、我が家の郵便ポスト（通称、カエルポスト）に野鳥の四十雀が営巣を始めました。これで四年目になります。最初の年は、誰がポストの中にゴミ（苔のようなもの）を投げ入れ、誰かのいたずらかと思ひ、巣を作らせませんでした。2年目も春先、同じようになりましたが、偶然ゴミを小鳥が運んでいるのを見、そのままにしておきましたら、見事8羽の小鳥が巣立ちました。昨年は2番巣まで作り本当に賑やかなポストとなりました。郵便屋さん、新聞屋さんには本当にご迷惑をお掛けしました。年々営巣の時期が早まっている気がしております。これも温暖化のせいでしょうか。話は変わりますが、政治の世界では、先の衆議院選挙で「政権交代」を旗印に戦った民主党が過半数を超える圧倒的な勝利を収め、長く続いた自民党政治に終止符を打ちましたが、民主も自民と変わらない政治主導に国民が嫌気を指してきております。このような政治経済が不透明で大きな変革期に定年を迎えることとなりました。

昭和47年4月、関商工高校を皮切りに38年間勤めさせていただき、いろいろな研修に参加させていただきました。特に平成4年6月から8月まで名古屋市内にある百貨店へ内地留学させて頂きました。当時は「マーケティング教育」に注目が注がれていた時代でした。6月は食器売り場、7月は酒類売り場、8月は紳士服売り場で実際に売り場にたち、それぞれの商品の売り方の違いを研究しました。ちょうどその時代は日経平均株価が3万6千円を超えバブル景気に陰りが見え始めた時でした。それでも中元時、ビール券だけで1日一億円の売上を計上していたことを思い出します。ある時、部長と夕食を共にする機会がありました。お酒を交わしながら、雑談をしていた折りに売り場が一緒であった一人の男性社員の話になりました。その社員は、大学卒業2年目で売り場にも慣れ一生懸命お客様に接していた好青年でした。しかしながら、時々小さなミスをし、女性社員から小言を言われたり、会社に大きな損失を与えたこともあったと聞いておりました。部長からこの男性社員の今後について聞かれました。私は「彼は、会社への帰属意識や販売に関して良いものを持っており、もう少し時間をかけ教育すればきっと立派な社員になる。大器晩成型の人間だ。」というような意味の事を答えた記憶があります。その時の部長の返事は、会社にはこれ以上教育する余裕はない。売り場は教育する場所ではない。とのことでした。結局彼はしばらくして売り場から姿を消し、納入商品の検品の仕事に配置転換となりました。

平成14年には1年間長期社会体験研修で株式会社十六銀行で研修を行いました。この研修を最初に聞いたときは自分自身目の前が真っ暗になりました。年齢も50歳を超え、一年間という長期の研修を、場所がどこであれ勤め上げられるか考えれば考えるほど不安な要素ばかりが頭の中をよぎりました。この目的は、十六銀行での研修・業務経験を通じて、人を見る目、人材育成、及び規律を学ぶことにより、民間企業における業務への取り組み姿勢、人間関係管理等を今後の高等学校運営に生かすことにありました。研修は多岐にわたり、毎日毎日が新鮮で、新しい発見の毎日でした。銀行の方々には多くの迷惑を掛けた事と思ひます。勤務の内容は数々ありましたが中でも4ヶ月過ごした法人部経営相談所での勤務が特に印象深く残っております。当時の相談所は本店2階にあり、中小企業診断士の資格を有する行員2名（所長と行員）で運営されており、銀行の取引先に各種のサービスを提供していました。所長はおおらかな性格で年齢も同じくらいだったのでよくウマが合いました。彼は当時国際標準化機構が環境マネジメントシステムとして規格化しているISO14000の認証取得を取引先企業に推進しており、よく同行させて頂きました。道中、訪ねる企業の分析で会話に花が咲きました。本当に分析力に富み、人間味あふれる聡明な人物であったことが忘れられません。

これらの研修を通して思うことは、「企業は人なり」ということです。商業教育はまさに「人づくり」そのものです。上級学校への進学率が就職率より大きく上回り、完成教育から継続教育へと変わってきた現在、普通教育との差別化は必要で、そのキーワードは「生徒個々の努力」を引き出すことではないでしょうか。最近、特に感じます。

最後に、多くの先生方に支えられ38年間無事教員生活を送れたことに感謝するとともに、この土岐商に通算9年間お世話になりましたことに感謝しつつ、土岐商業高校の教育が今後ますます飛躍・発展することを期待しております。本当にありがとうございました。

離任される先生方のご紹介

ご退職される先生

服部博 教頭先生、高山秋信先生、水野勝志先生、渡邊義朗先生、西戸孝夫先生

転出される先生：()は転出先

清水香織先生(東濃フロンティア高校)、原満先生(中津商業高校)、高崎久美子先生(大垣北高校)、

仲村建一先生(東濃フロンティア高校)、小森範子先生(山県高校)、河端祥代先生(加茂農林高校)

三浦育代先生(恵那南高校)、宮本崇義先生(多治見北高校)

4月の行事予定

日	曜	行事	日	曜	行事	日	曜	行事
1	木		11	日		21	水	生徒総会(6限)・自転車点検
2	金		12	月	個人写真撮影(1年)	22	木	尿検査
3	土		13	火	個人写真撮影(1年)	23	金	尿検査
4	日		14	水	2者懇談会~20日まで、一斉委員会	24	土	
5	月		15	木	個人写真撮影(2年)	25	日	
6	火		16	金	個人写真撮影(2年)	26	月	個人写真撮影(3年)
7	水		17	土		27	火	
8	木	始業式・入学式	18	日		28	水	
9	金	対面式・部紹介	19	月	個人写真撮影(3年)	29	木	昭和の日
10	土		20	火	個人写真撮影(3年)	30	金	育友会総会

岐阜県立 土岐商業高等学校

岐阜県土岐市土岐津町
土岐口1259-1

電話 0572(54)1291

Fax 0572(55)6904

Email

C27330@gifu-net.ed.jp

URL

<http://school.gifu-net.ed.jp/toki-chs/>